

Installation Procedure

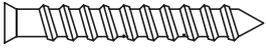
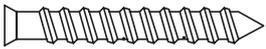
ハイステップスリム

施工マニュアル

2023年12月

 **ナカ工業株式会社**

施工用部品リスト

NO	部品名	部品姿図	規格寸法	材質	備考
1	P レスアンカー		4×25 (4×32)	鉄	モルタル下地用
2	テクスビス		4×10	鉄	鉄板下地用
3	タイルメント MS-300		320ml	変形シリコン系 接着剤	モルタル下地用
4	コニシ MPX-1		333ml	変形シリコン系 接着剤	鉄板下地用

ハイステップスリム施工マニュアル

1. 概要

本施工マニュアルは、ハイステップスリムに関する施工を正確に行うことを目的として作成したものである。

2. 注意事項

(1) 金台とビニルタイヤの接着

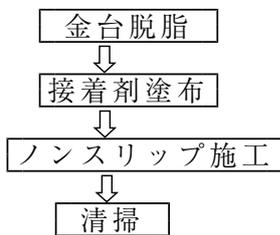
昇り始め、降り始め3段は、ビニルタイヤのズレ防止のため、接着剤を使用し、端部から150mm空けた位置から100mm～150mm、接着施工を行う。

ハイステップの両サイド（または片側）に壁が無く、解放されている場合については通常のビニルタイヤの接着及びエンドキャップについても接着する。

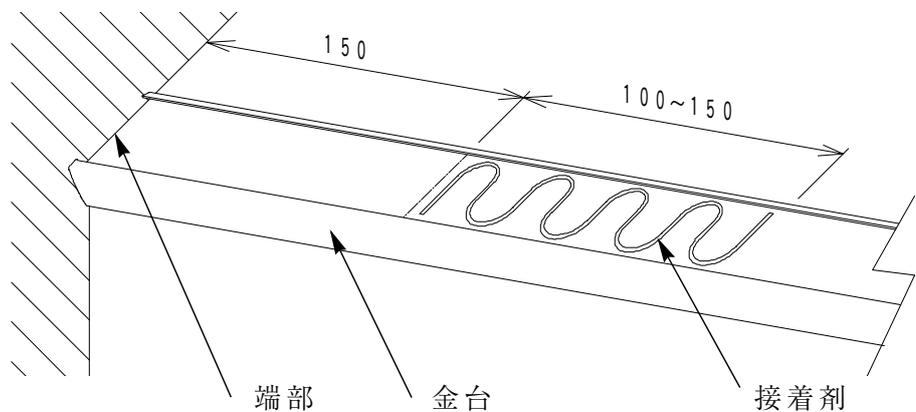
[接着場所]

- ・ 昇り始め、降り始めから3段まで、踊り場をはさむ上下3段まで。
- ・ 端部に壁がない場合は全段。

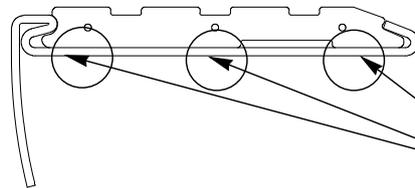
[接着剤塗布手順]



[接着剤塗布例]



※接着剤がはみ出してしまった場合は、速やかに拭き取る。



3点に接着剤がつくように接着剤を塗布する。

[タイプ一覧]

タイプ	ストライプタイプ
主な機種	NSP-35 S , F、NSP-40 S , F、NSC-40 S , F、NSP-35CK、NSP-40CK、NSC-40CK NSP-35D、NSP-40D、NSC-40D
接着剤の使用	全ての階段の昇り始め、降りはじめから3段まで、踊り場をはさむ 上下3段まで。端部に壁がない場合は全段。
押し込み 嵌合	5 ~ 10 mm

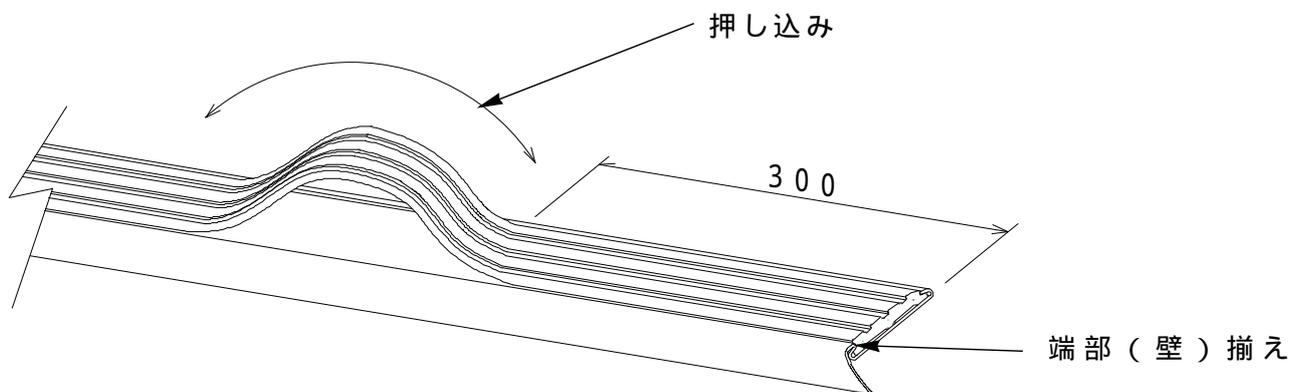
アルミ金台、伸ちゅう金台タイプ含む。

[使用出来る接着剤と注意点]

接着剤	乾燥時間	注意点
瞬間接着剤 (ゼリー状)	1 時間以上	・はみ出さないように注意する。 ・瞬間接着剤は水分と反応するので、 ビニルタイヤについた水分は、 十分に拭き取る。
塩化ビニル + 金属 用接着剤 例：ボンドSU (コニシ株) スーパーX (セグイ株) 等	2 4 時間以上	・完全に乾燥するまでは、荷重を 加えない。 (乾燥時間内は立ち入り禁止とする。)

(2) ビニルタイヤ押し込み量

ビニルタイヤは金台よりも5 mm ~ 10 mm長く切断し、両端部の位置を合わせ嵌合した後、端部から300以上離れた位置から押し込み、挿入する(端部より150 ~ 300の位置をビニルタイヤ接着の為)。



押し込み過ぎない事。

押し込みすぎると(15 mm以上になると)ビニルタイヤにビビリやシワができるので注意する。

必ず押し込み量は10 mm以下とする。

ビニルタイヤを引っ張るように(伸ばしながら)挿入すると、縮みの原因になるので注意する。

端部に壁がない場合は、ビニルタイヤは金台と同じ長さとし、両端接着面がずれないように注意する。

(3) 金台をプレスアンカー等で固定するとき、プレスアンカー等を垂直に打つ。

- (4) 接着剤はゆっくりと硬化していくので、硬化するまでプレスアンカーでしっかりと固定する。

硬化時間の目安：常温（20℃前後）で24時間

- (5) タイヤについての変形（クセ）は、70以上の状態に30分以上放置して取り除く。
（変形がとりきれない場合は、放置時間を延ばし調整する。）

3. 施工要領

3-1. 施工準備

注意；Pタイル用、タイルカーペット用については、絶対に仕上材の上から施工しないでください。 階段仕上面からの出が高くなりすぎる事により、金台・ビニルタイヤの外れ（剥がれ）、ツマヅキの原因となり危険です。

ビニルタイヤ、及び金台の寸法。数量並びにカラーの確認を行う。

施工用部品及び工具等の品揃えを確認する。

3-2. 階段下地の状態調査

モルタル面が完全乾燥状態であることを確認する。
（モルタル仕上げ後、最低4週間を経過してから施工する。）

階段段鼻に破損等がある場合は、ゼネコン側に依頼し補修完了後施工する。

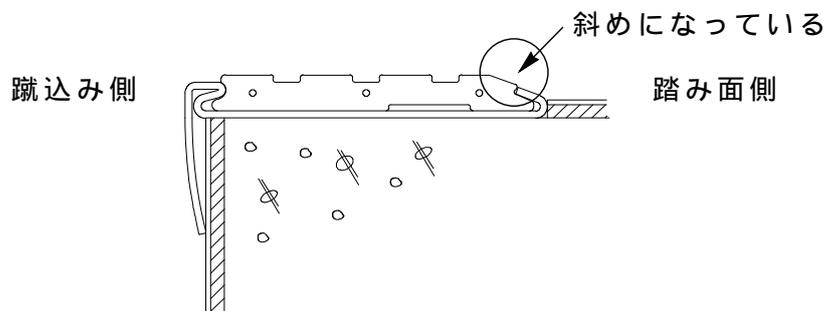
3-3. 接着面の状態調整

階段接着面（モルタル表面）の清掃を行った後、施工を行う。

3-4. 各工程

- ① 採寸
- ② 金台切断すり合わせを行う。
（注意・・・バリ取り。壁と金台の取り合いに隙がないこと。0.5ミリ以下）
- ③ 下地（モルタル）の穴あけを行う。
（金台の穴に合わせてドリルにて、モルタルに下穴を明ける。）
（穴径：3.5、深さ：30～35ミリ）
（注意・・・モルタルの穴位置と金台の穴位置がズレることの無いよう穴明けする。）
- ④ 階段及び金台の清掃を行う。
（階段下地接着面及び金台のゴミ、埃等を取り除き清掃を行う。）
- ⑤ 接着剤を塗布する。
（下地接着面清掃後、接着剤を金台幅の約半分の面積に1mmの厚さに塗布してください）（30g/m以上）
（注意・・・マスキングテープにより汚れ等の防止をする。）

- ⑥ 金台のセットをする。
(金台を前後にスライドし接着剤をなじませてセットする。)
- ⑦ 金台の固定をする。
(所定のプレスアンカー等を用い金台を完全固定する。)
- ⑧ ビニルタイヤの切断を行う。
- ⑨ 金台の清掃を行う。
(金台のゴミ、埃、付着物を除去する。)
- ⑩ フラットエンド、ビニルタイヤの取り付けを行う。
(フラットエンドを取り付ける場合、フラットエンドを先に両端に取り付ける。)
(注意・・・ビニルタイヤ嵌め込みの際、ビニルタイヤ切り口が直角になっているのを確認し、フラットエンドとの隙間がないようにする。)
(注意・・・ビニルタイヤ及びフラットエンドの前後を間違わないようにする。)



- ⑪ 階段の清掃を行う。
- ⑫ 施工後24時間以上の養生期間をおく。
(注意・・・階段の入り口及び出口付近に通行止めの貼り紙をする。)
- ⑬ 施工完了後、次に示す自主検査表に基づき検査を行い、検査完了後、当社工事担当へ提出してください。

ハイステップ 自主検査表

検印	検印	検印

検 査 日	平成	年	月	日
施 工 業 者				
検査担当者	印			

現 場 名		検 査 場 所	
ゼネコン名		施 工 期 間	
製 品 名	一般内部、外部、公団	タ イ プ	

検査項目及び結果

NO	検 査 項 目	是正内容	是 正 箇 所	是 正 日	確 認
0 1	ビニルタイヤの浮き、剥がれ、傷はないか。			月 日	
0 2	ビニルタイヤの切り口は直角になっているか又サイドキャップの間に隙間はないか。			月 日	
0 3	金台にガタツキはないか。			月 日	
0 4	金台に切断焦げ、バリはないか。			月 日	
0 5	金台にボンドのはみ出しはないか。			月 日	
0 6	切り粉は完全に除去したか。 (改修工事の場合)			月 日	
0 7	下地が濡れていたなど問題はなかったか。 (外部用のみ)			月 日	
0 8	ステンレスアンカーを使用しているか。 (外部用のみ)			月 日	
0 9				月 日	
1 0				月 日	

<検査者記事欄>

<検印者記事欄>